

学校経営の全体構想

小樽市立青園中学校

公教育の目的・目標

・日本国憲法・教育基本法・学校教育法・中学校学習指導要領・小樽市教育推進計画・その他教育関係法規

生徒の実態

- ・学習・部活動、生徒会活動に意欲的に取り組む生徒
- ・学力の多極化
- ・コミュニケーション能力の低下

保護者、地域の願い

- ・青園プライド
- ・学力向上と豊かな人間性の醸成
- ・地域とのつながり
- ・社会性の涵養

小中9年間の教育目標

明日を
創る力を育む

学校経営課題

- 小中一貫教育の推進
 - ・授業力の向上
 - ・学びの連続性と学力向上
 - ・個別最適な学びの保障
 - ・9年間の教育課程編成
- 学校運営協議会の機能化
 - ・社会に開かれた教育課程
- 特別な支援を必要とする生徒への対応
- GIGA スクール構想の実現
- 教職員の働き方改革

令和4年度 学校経営の重点
「4つの力」を伸ばす 16Sと3Aの意識化

4つの力

協働力

対応力

16の
SKILL

対話力

設計力

『つくる』 互いを尊重しながら力を合わせ、目標に向かって取り組む生徒

- S1:多様な考えを組み合わせ、より良い考えをみつけようすることができる。
S2:他者との関わりから、新たな発見や目標をみつけることができる。
S3:授業や行事などで人と協力して活動できる。
S4:係や当番など自分や集団の役割に責任をもって取り組むことができる。

『うごく』 状況をとらえ、よりよい方向や解決を目指して行動する生徒

- S5:人の話や説明を理解し、自分なりの考えをもつことができる。
S6:うまくいかない理由を踏まえ、対応策を考えることができる。
S7:周りの状況を的確に判断し、自ら行動できる。
S8:より良い方法を考え、実行することができる。

『つたえる』 自らの考えを発信し、建設的な話し合いを進める生徒

- S9:人の話を正しい態度で聞くことができる。
S10:自分の考えや気持ちを相手にわかりやすく伝えることができる。
S11:自分と違う考えを受け入れることができる。
S12:他者との会話をもとに、新たな発見や目標をみつけることができる。

『みとらす』 ゴールを定め、見通して計画し、調整できる生徒

- S13:計画的な家庭学習ができる。
S14:結果（ゴール）を見通すことができる。
S15:目標達成への過程を考えることができる。
S16:自分でより良い選択ができる。

4つの力を育むための教職員の 3つの ACTION

※①～③ 学習指導要領「育成を目指す資質・能力の3つの柱」

A1: 研究する

「徹底した授業改善と教材研究」

- ①何を理解しているか、何ができるか
(知識・技能)

1: 学力向上

- ①学力向上プランの実践、検証
- ②小中9年間を通じた学力の向上
- ③教師の授業力の向上
- ④中1ギャップ解消を目指した小学校との授業等の交流
- ⑤加配を活用した個別指導の充実
- ⑥放課後学習会の効果的な活用
- ⑦計画的なキャリア教育、進路指導の充実
- ⑧教師、生徒によるICT機器の効果的な活用
- ⑨各種検定(英検、漢検等)の資格取得の推奨

2: 道徳教育の充実

- ①道徳の授業研究
- ②ふるさと教育の推進
- ③情報モラル教育の徹底

3: 体力向上のための体育授業の工夫・改善

- ①体力向上プランの実践、検証
- ②小中9年間を通じた体力の向上
- ③日常の基礎体力作り

4: 特別支援教育の充実

- ①合理的配慮に基づく支援の充実
- ②特別支援教育支援員との連携・充実
- ③学びの支援委員会の機能向上
- ④校区小学校との交流推進
- ⑤通級学級の指導の充実
- ⑥関係機関の積極的な活用・連携

A2: 指導する

「とらえる、ほぐす、みちびく、のばす、はなす指導」

- ②どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか(学びに向かう力、人間性等)

1: 家庭学習の定着

- ①小学校と連携、接続を踏まえた家庭学習の指導
- ②「あすのおと」を活用した家庭学習の記録化、見える化
- ③毎日1時間以上の家庭学習と予習の推奨

2: 生徒指導の充実

- ①小中連携した生徒指導
- ②教職員の指導の在り方を示す生徒指導の推進
- ③学校組織としての共通理解・共通行動の徹底

3: いじめ問題、不登校等への対応

- ①所属感を高める学級経営、教科経営の充実
- ②「アセス」などのデータを活用した教育相談の充実
- ③スクールカウンセラー等を活用した研修
- ④関係機関との連携
- ⑤小樽市の取組への積極的な参加

4: 生活習慣の改善

- ①食育指導の工夫
- ②小樽市のルール「おたるスマート7」の指導
- ③スマホやゲーム等の使用と健康を考えた小中一貫指導

A3: 場をつくる

「生徒の経験値を高める場の設定」

- ③理解していること・できることをどう使うか
(思考力・判断力・表現力等)

1: 生徒会活動の活性化

- ①学級活動を基盤とした生徒会活動の充実
- ②主体的ないじめ問題への対応
- ③小学校の児童会、地域、PTAとの交流・連携
- ④小樽市の取組への積極的な参加

2: 読書活動の推進

- ①朝読書の取組、新聞を活用した授業等の推進
- ②学校図書館を活用した教科経営の充実
- ③生徒会図書委員会活動の充実
- ④小学校及び地域、関係機関等と連携した読書活動の推進

3: 健康、安全教育の充実

- ①地域と連携した防災教育の推進
- ②安全教育の徹底
- ③健康教育の推進
- ④命を考えた場面の設定

4: 心と体を鍛える部活動の推進

- ①目標を明確にした主体的な活動
- ②本校ガイドラインに基づく休養日等の設定

5: 社会につながる人間性の涵養

- ①時間を守り、場を清め、礼を正す指導
- ②地域の行事、ボランティア等を通じた社会貢献活動

